

第36期（平成28年12月期） 定時株主総会

ローランドディー・ジー株式会社
平成29年3月23日

第36期 事業報告

(自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)

本資料に掲載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点(平成29年3月23日現在)で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。したがって、これらの業績見通しのみを依拠して議決権行使および投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

第36期 (2016年度) 連結業績

決算期について

- ❖ 第36期より、単体・連結子会社ともに1月から12月が対象期間
- ❖ 「前期・第35期」の計数は、当期と同様、1月から12月の対象期間に補正

		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期 第35期 (補正前)	子会社	12ヶ月															
	単体				9ヶ月												
前期 第35期 (補正後)	子会社	比較の対象12ヶ月															
	単体	比較の対象12ヶ月															
当期 第36期	子会社	12ヶ月															
	単体	12ヶ月															

❖ 前期比 減収・減益

- サイン市場では厳しい競争が続き、プリンター売上が減少
 - 為替円高により売上利益ともに減少
-

❖ 事業成長に向けた取り組み

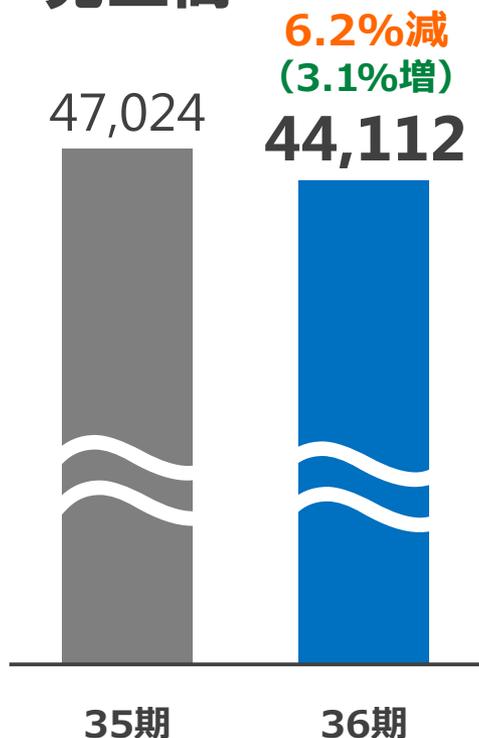
- 「成長分野の事業化」に注力
- 成長分野へ経営資源の再配分を実施
- 特にデンタル分野とリテイル分野の売上が伸長

第36期 連結業績

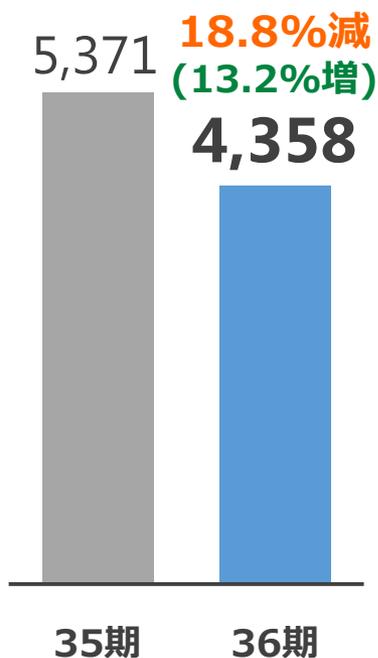
単位：百万円

() の増減率は為替影響を除く実質ベース

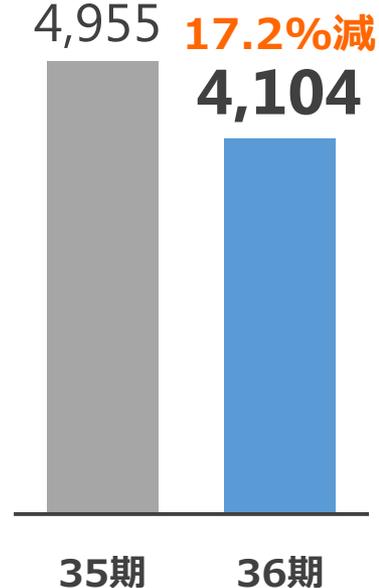
売上高



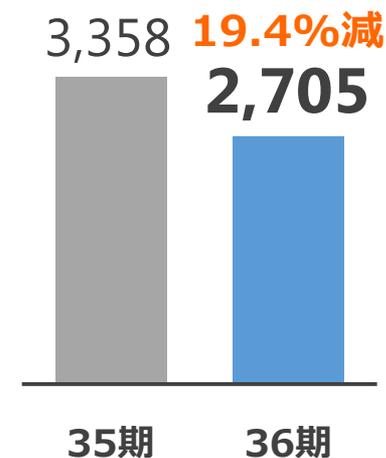
営業利益



経常利益



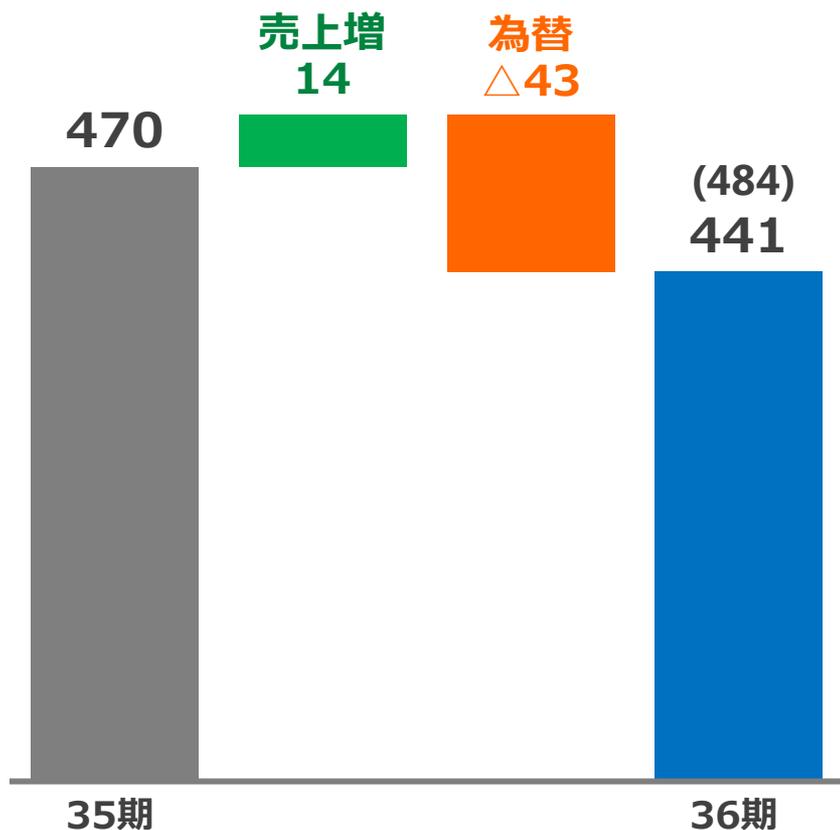
当期純利益



※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

売上高増減分析 前期比

単位：億円



()は為替影響を除く実質ベース

実質な売上高は14億円の増収

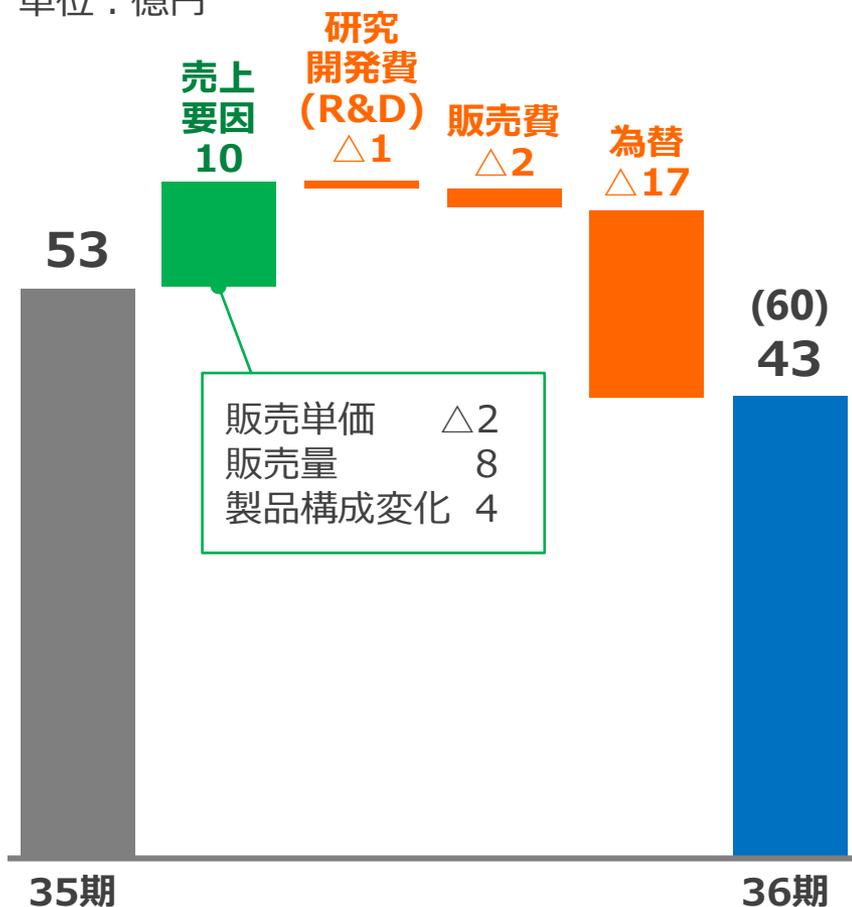
為替要因により43億円の減収

売上高は29億円の減収

期中平均レート (単位：円)	35期 実績	36期 実績	
USD	121.06	108.88	89.9%
EUR	134.36	120.40	89.6%

営業利益増減分析 前期比

単位：億円



()は為替影響を除く実質ベース

実質7億円の増益

為替要因により17億円の減益

営業利益は10億円の減益

期中平均レート (単位：円)	35期 実績	36期 実績	
USD	121.06	108.88	89.9%
EUR	134.36	120.40	89.6%

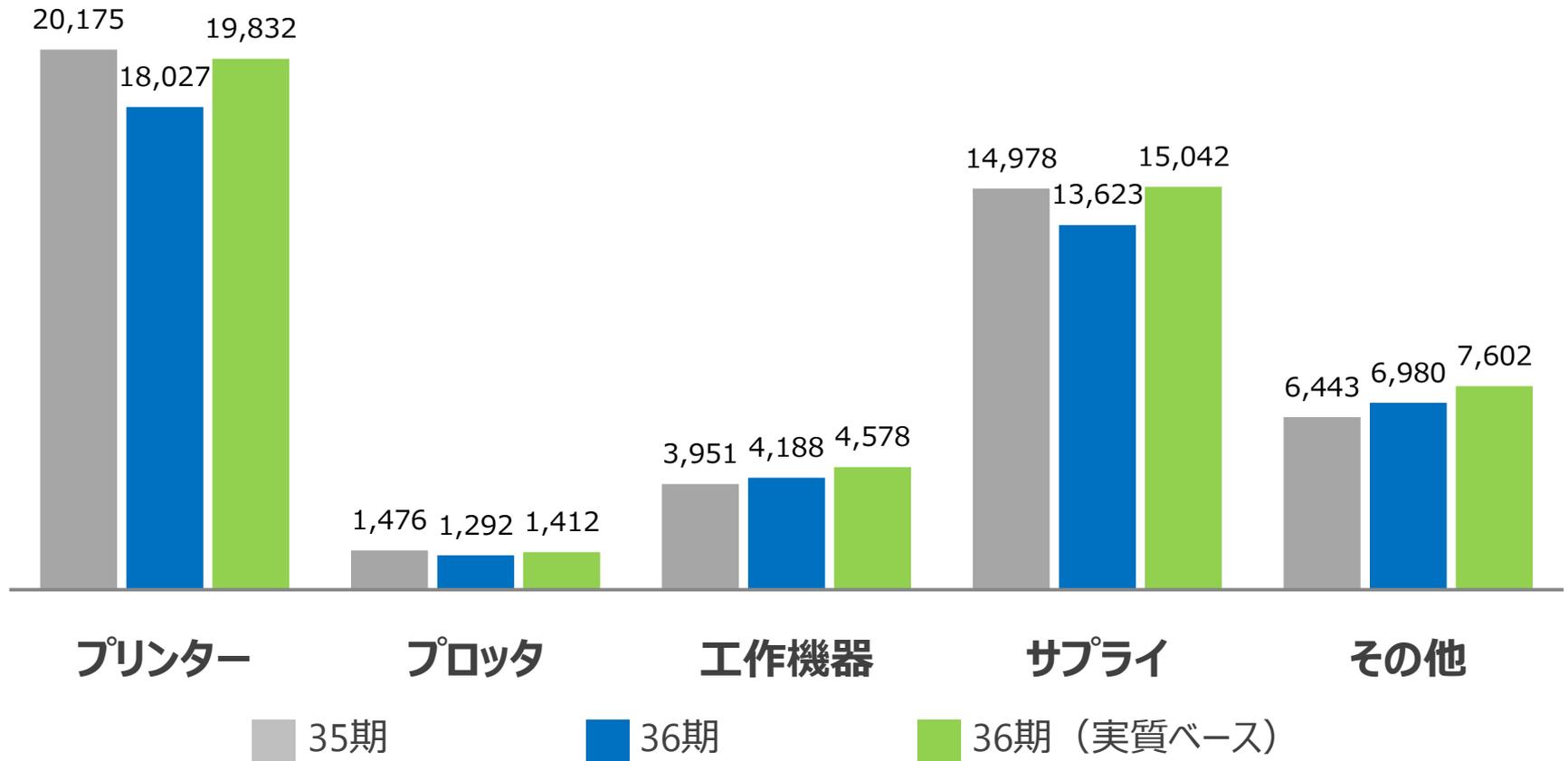
第36期 事業動向の概況

品目別

		前期比	前期比 (実質ベース)
プリンター	<ul style="list-style-type: none">小型UVフラットベットタイプは20%伸長サイン用プリンターは減収	89.4% 	98.3% 
プロッタ	<ul style="list-style-type: none">高価格帯機種種の販売が低調	87.5% 	95.6% 
工作機器	<ul style="list-style-type: none">デンタル加工機が20%伸長	106.0% 	115.9% 
サプライ	<ul style="list-style-type: none">UVインクは15%増収低溶剤インクは減収	91.0% 	100.4% 
その他	<ul style="list-style-type: none">主にサービスパーツ売上と保守契約が増加	108.3% 	118.0% 

第36期 品目別売上高

単位：百万円



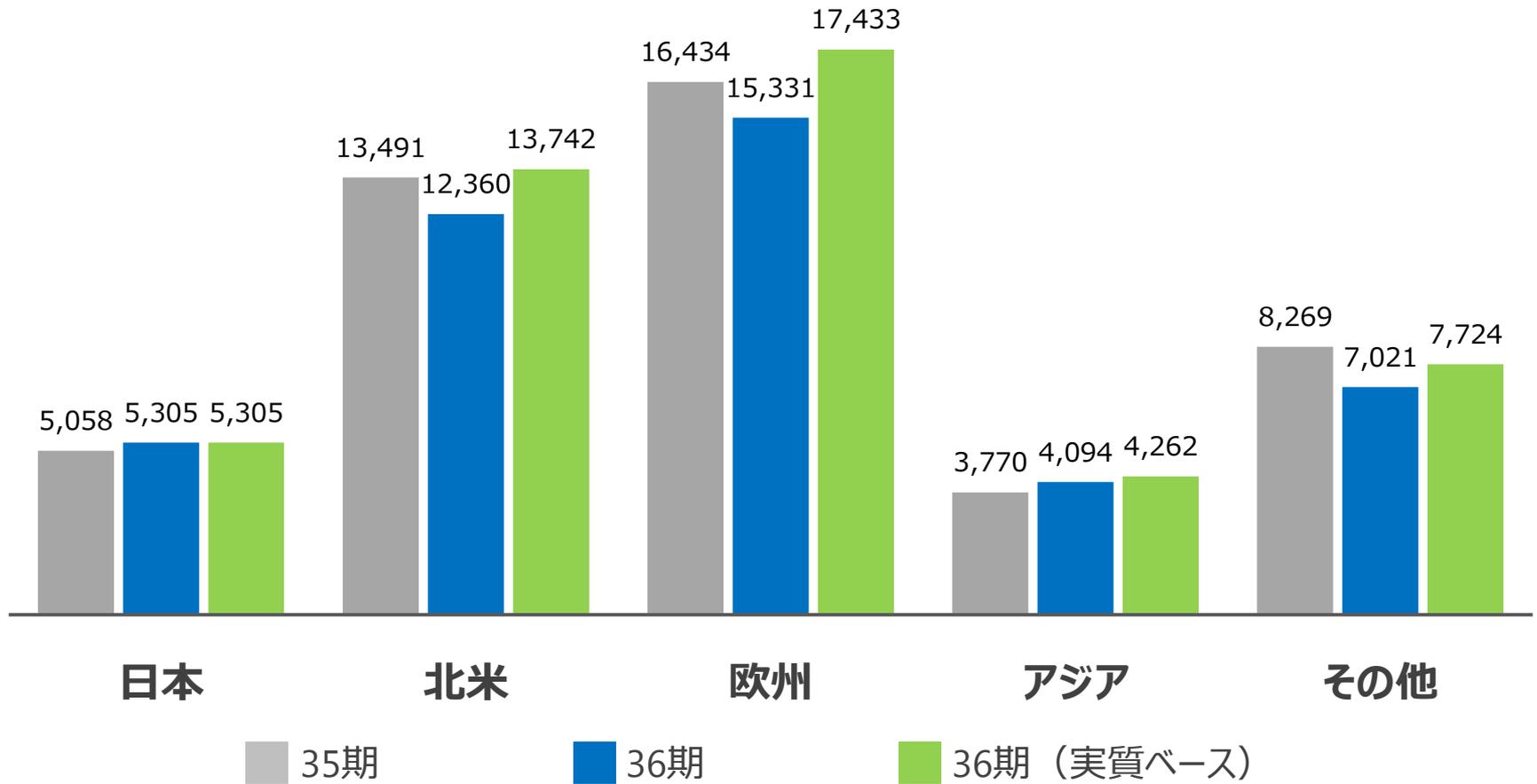
第36期 事業動向の概況

地域別

		前期比	前期比 (実質ベース)
日本	<ul style="list-style-type: none">成長分野に向けたUVプリンター・デンタル加工機が伸長	104.9% ↑	104.9% ↑
北米	<ul style="list-style-type: none">サイン用プリンターの新製品とデンタル加工機が寄与現地通貨では増収だが、円高影響により邦貨では減収	91.6% ↓	101.9% ↑
欧州	<ul style="list-style-type: none">専任者増強によりデンタル加工機が大きく伸長現地通貨では増収だが、円高影響により邦貨では減収	93.3% ↓	106.1% ↑
アジア	<ul style="list-style-type: none">中国・韓国でUVプリンター・デンタル加工機の販売網拡充が奏功して売上伸長	108.6% ↑	113.1% ↑
その他	<ul style="list-style-type: none">ブラジルの経済情勢悪化に伴う販売鈍化で大幅減収	84.9% ↓	93.4% ↓

第36期 地域別売上高

単位：百万円



自己株式消却前後の主要指標

2016年6月1日付で、自己株式1,729,200株を消却

	35期末	36期末 (消却後)
発行済株式総数 (株)	14,385,511	12,656,311
自己資本 (百万円)	22,910	20,617
自己資本比率	60.3%	56.7%
1株当たり純資産 BPS (円)	1,608.94	1,647.59
1株当たり当期純利益 EPS (円)	173.36	206.73
自己資本利益率 ROE	11.0%	12.4%

連結貸借対照表

資産合計
363億41百万円

負債合計
157億23百万円

純資産合計

有利子負債総額

61億円

(前期末比 4億円増)

連結貸借対照表



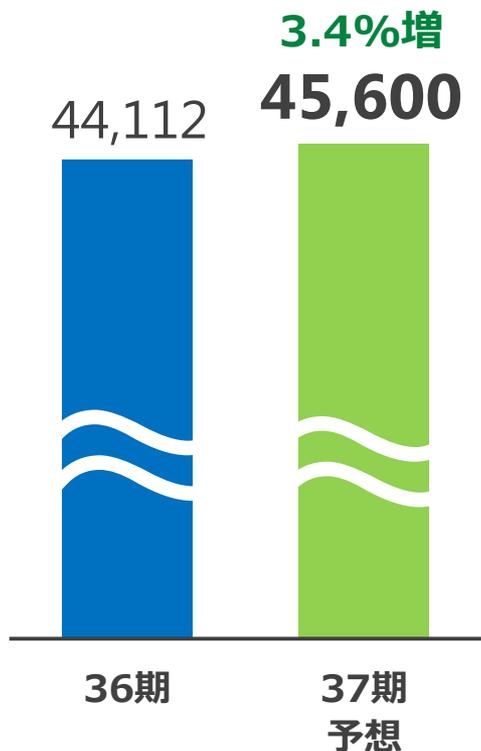
- 自己資本比率は約57%と、財務面の健全性は引き続き維持

第37期 (2017年度) 連結業績予想

第37期 連結業績予想

単位：百万円

売上高



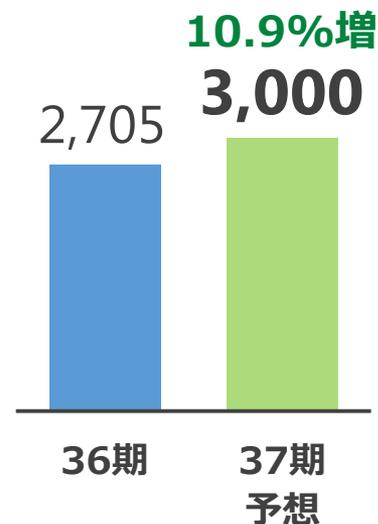
営業利益



経常利益



当期純利益



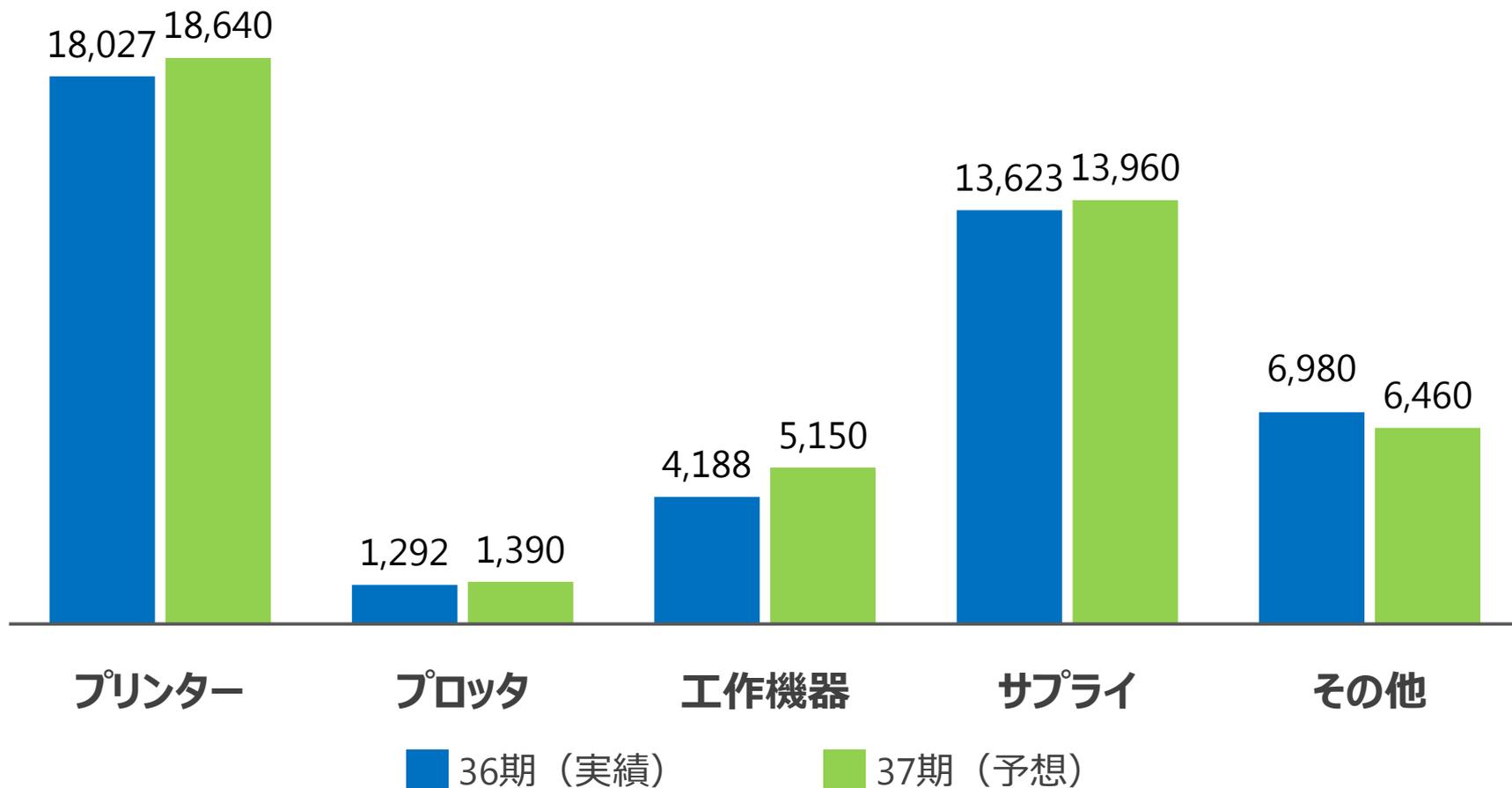
期中平均レート
(単位：円)

	36期 実績	37期 想定	
USD	108.88	110.00	101.0%
EUR	120.40	120.00	99.7%

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

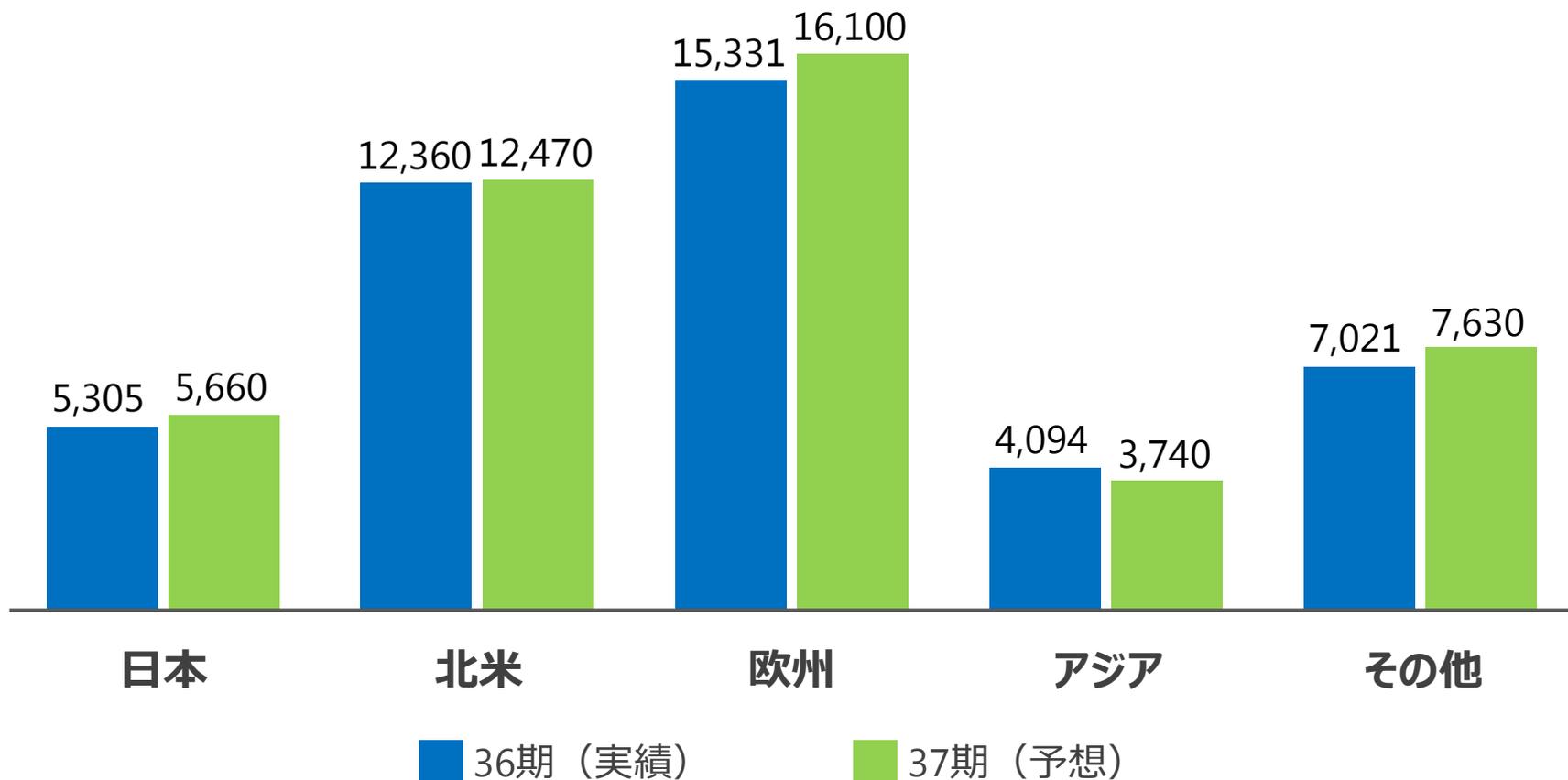
第37期 品目別売上高予想

単位：百万円



第37期 地域別売上高予想

単位：百万円



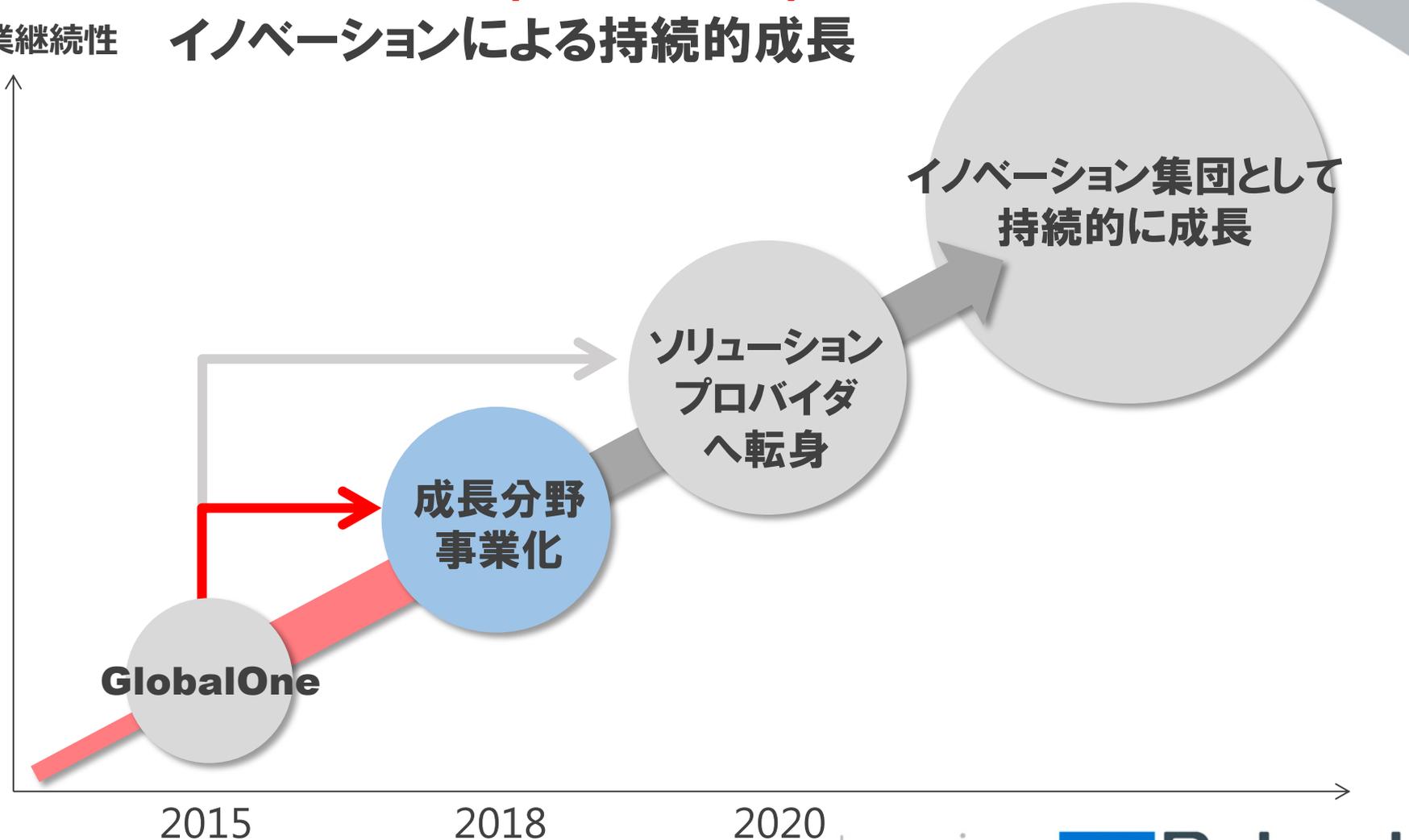
事業の概況

持続的成長へのロードマップ

GrowthOne (グロースワン)

イノベーションによる持続的成長

企業継続性



GlobalOne

2015

2018

2020

Imagine.  Roland

注力する事業分野

デンタル
(歯科医療)

3Dものづくり

リテイル
(小売店舗)

テキスタイル
(布地印刷)

多用途印刷

サイン
(広告看板)

DGSHAPE株式会社の営業開始

4月3日 営業開始



DGSHAPE

ディージーシェイプ

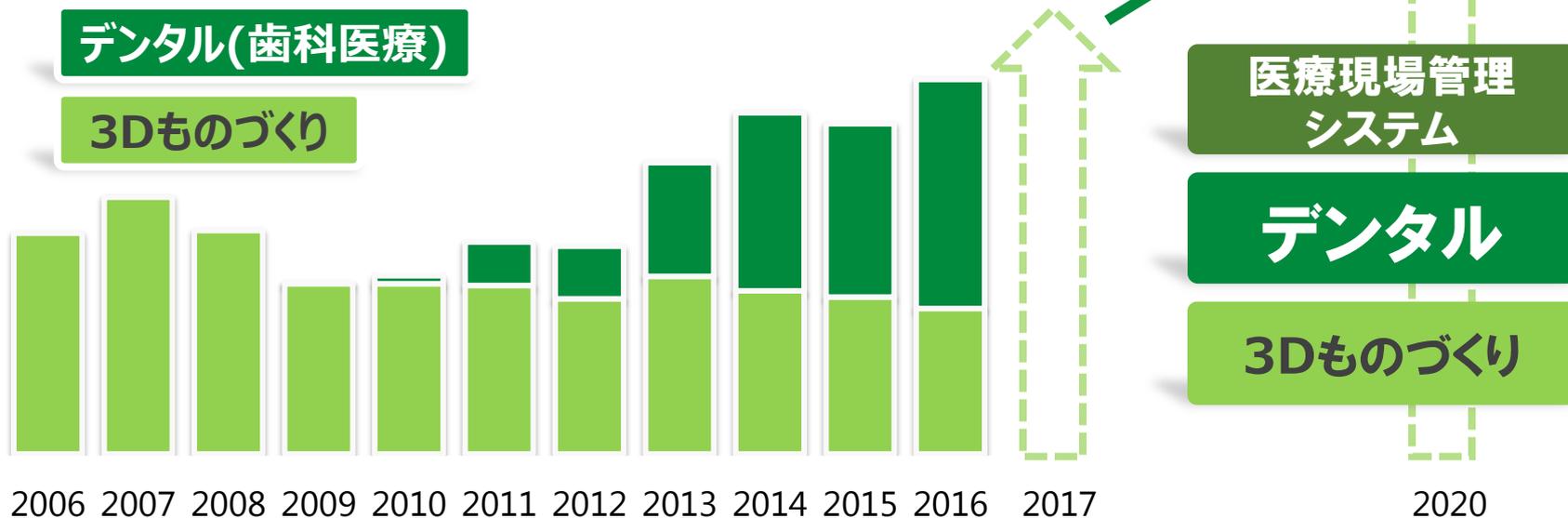
デンタル
(歯科医療)

3Dものづくり

Imagine.  Roland

DGSHAPE株式会社設立の狙い

- 3D事業の焦点をデンタル分野へ
- 新たなブランドとして独立しスタート
- 意思決定をスピードアップし事業拡大を促進



業界のデジタル化を推進

デンタル: 当社の強み

オープンシステム

アナログ工程デジタル化の
体験トレーニング

世界的に充実したサポート体制

ワンボタン操作

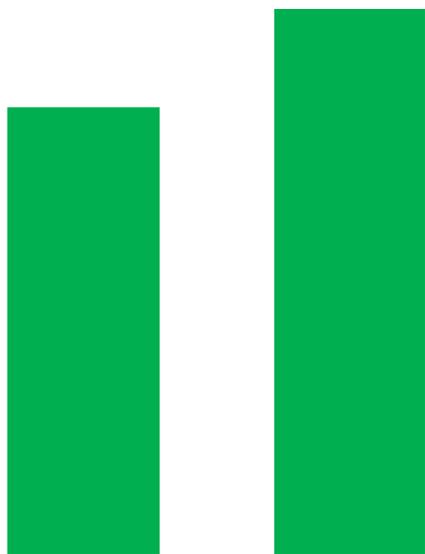
コンパクト/スタイリッシュデザイン



歯科用3D切削加工機

デンタル:2016年の売上成長率(2015年比)

22% 増



2015

2016

- 専任営業要員の増強により欧州中心に売上拡大

67% 増

欧州

15% 増

日本

20% 増

中南米

デンタル：業界のデジタル化の進展

- デンタル業界のデジタル化が成長段階に

世界の
歯科医院数
625,000軒

歯科技工所への拡販
デジタル化推進による歯科医院の開拓

黎明/成長ステージ

世界の
歯科技工所数
125,000軒

※ 歯科医院数および歯科技工所数は当社推定

デンタル:多様な用途・材料への対応

用途		材料			
		金属系	セラミック系	樹脂系	新規
かぶせ物			■	■	■
インプラント		■	■	■	■
入れ歯			■	■ 3/21発売	■

現在対応済み
 拡大可能性のあるエリア

デンタル:新製品2機種の販売 (3月21日発売)



DWP-80S 歯科用3Dプリンター



歯科用3D切削加工機 **DWX-52DC**

デンタル：新製品 DWP-80S（3月21日発売）

DWP-80S

歯科用3Dプリンター

入れ歯製作に必要となる「型」を
製作する3Dプリンター



カスタムトレイ



ベースプレート



フレームワーク



デンタル:新製品 DWX-52DC (3月21日発売)



DWX-52DC

歯科用3D切削加工機

最大6枚のディスク材料を自動で交換する
オートディスクチェンジャー搭載



医療器具の保全管理のためのマーキング提案

- **メタルプリンターによる医療器具への打刻マーキングを提案**



トレーサビリティシステム



メタルプリンター
MPX-95

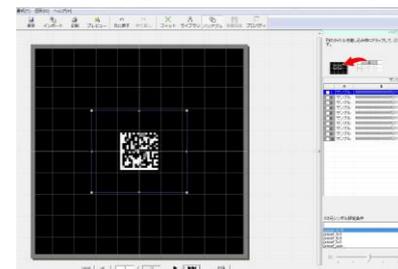


2次元コードの打刻
マーキング

器具の固有識別情報の表示を義務化する規制※に対応
※ UDI規制 UDI (Unique Device Identification)



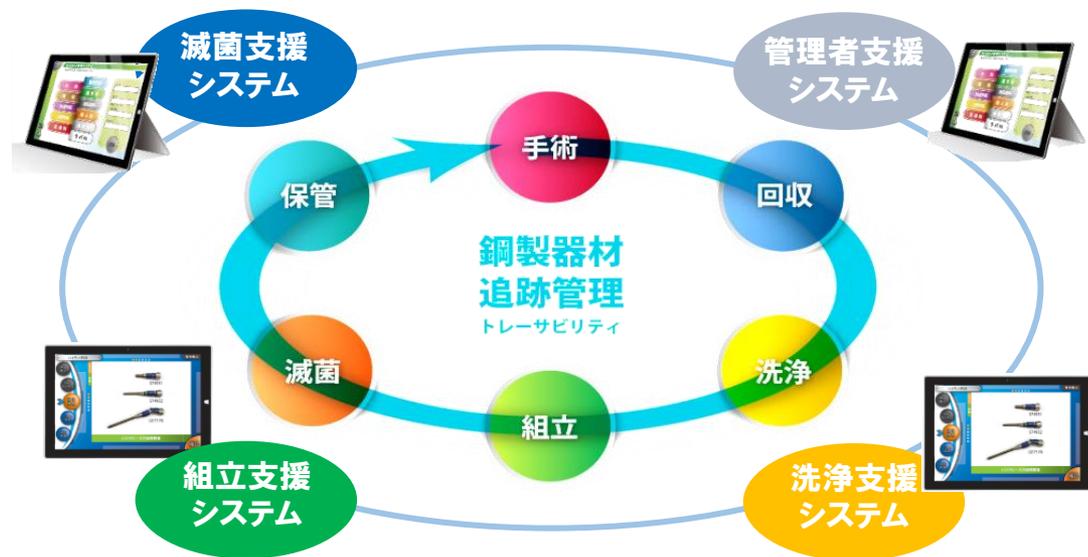
2次元コードの
読み取り



履歴管理

医療器具保全の作業支援システム

- トレーサビリティシステムと医療用デジタル屋台で医療器具の保全管理のデジタル化を提案



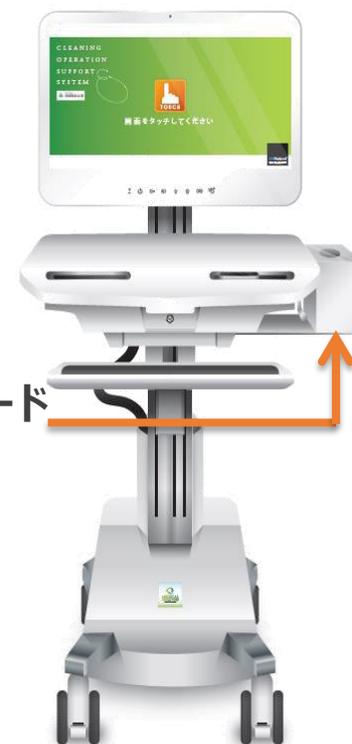
※浜松医科大学で運用開始/先端病院への導入推進

モニター

モーション
センサー

2次元コード
リーダー

非常用
バッテリー



手術器具等のメンテナンス支援システムの例

- 作業指示コンテンツの作成やサポートなど付帯サービスをパッケージ化

器具の情報登録支援

修理支援

工程設計支援

レポート&コンサルティング

手術支援ロボットダヴィンチの部品例



タブレットに作業指示を表示



イラストや画像を多用した作業指示で直感的に作業が可能



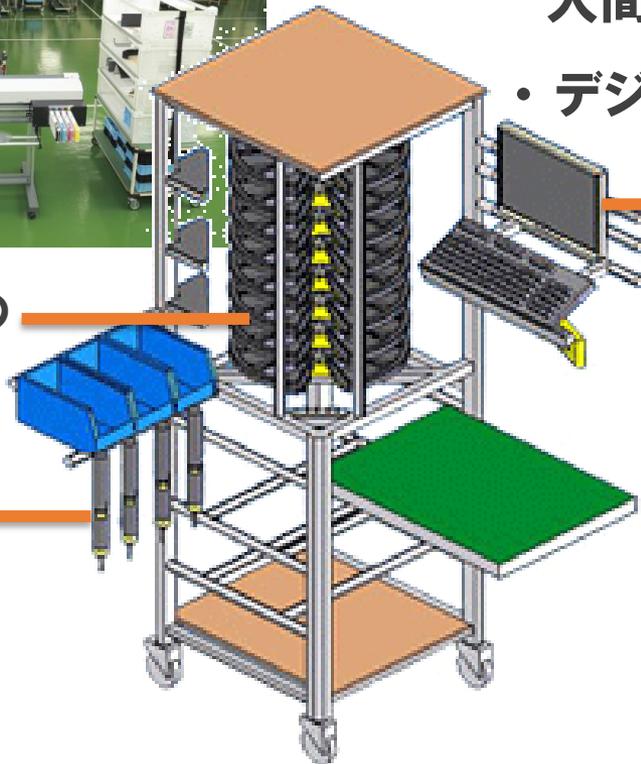
デジタル屋台 D-Shop



- ・リアルタイムの作業指示により
人間の記憶力、注意力に頼らない
- ・デジタル工程管理によって間違えない仕組み

自動供給の
部品棚

無線電動
ドライバー



パソコン画面



3Dものづくり:新製品の投入

3次元切削加工機の新製品 **MDX-50**

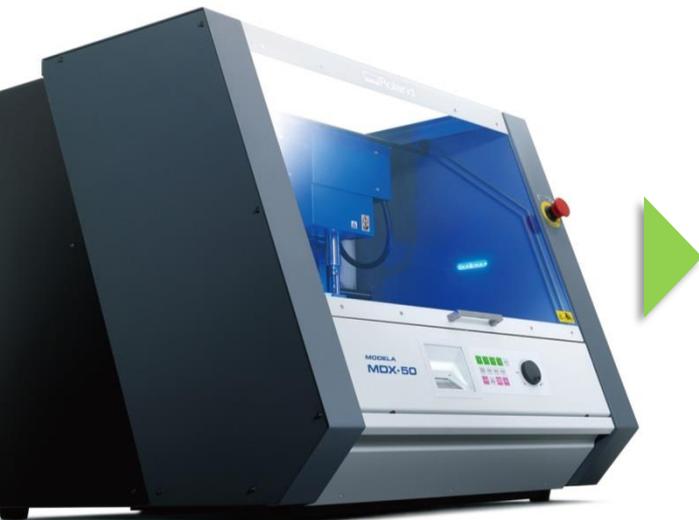
2016年10月発売

汎用性、使いやすさ、安全性を追求し
より幅広いものづくりに対応

- 加工範囲従来機比1.6倍
- 機器内蔵のパネルで直感操作
- オートツールチェンジャー機能
- 高い安全性

3Dものづくり:教育分野への注力

STEM教育分野の需要を開拓



米国高校での導入の様子

※ STEM教育 : Science (科学) 、Technology (技術) 、Engineering (工学) 、
Mathematics (数学) 、アメリカ経済の成長にこれらの分野を統合した教育が重要という考え方

デジタルプリンティング

リテイル
(小売店舗)

テキスタイル
(布地印刷)

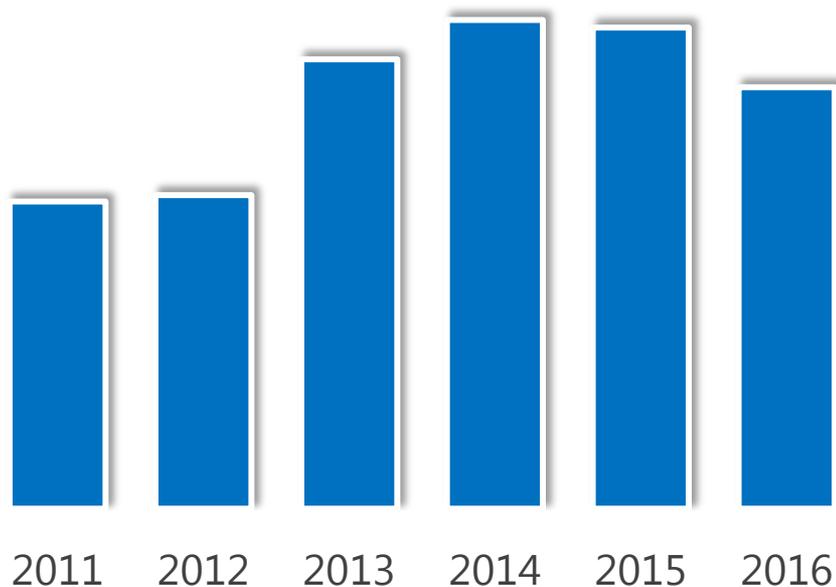
多用途印刷

サイン
(広告看板)

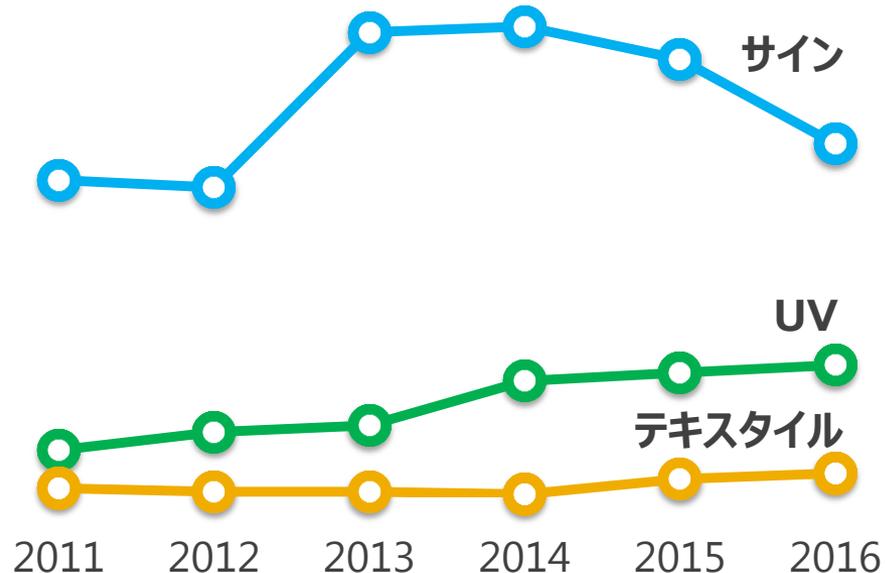
プリンターの状況

- UVやテキスタイルプリンターが下支え

プリンター売上高推移

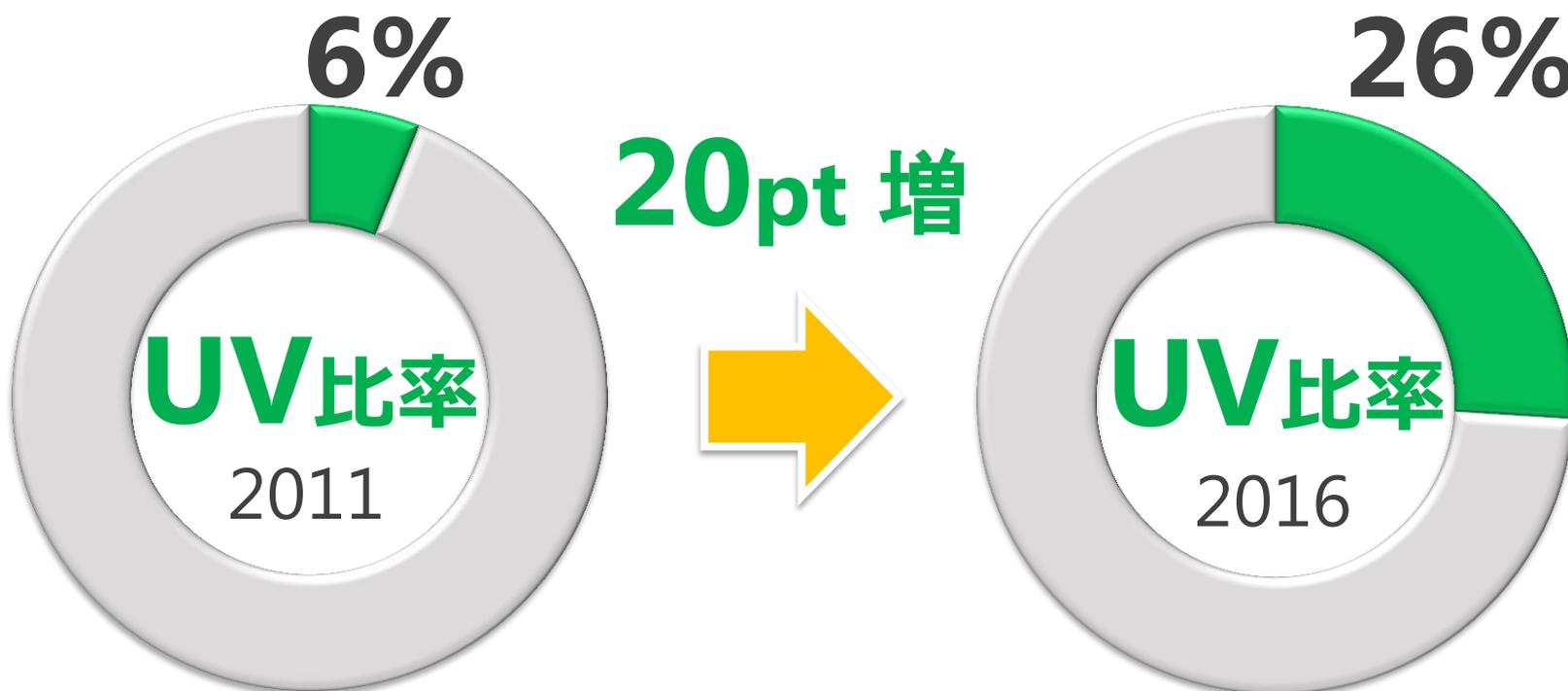


プリンター分類別売上高推移



プリンターにおけるUVプリンター比率

- プリンター全体に占めるUVプリンター比率が5年間で20pt増加



小型UVフラットベッドプリンターの増加

小型UVフラットベッド
プリンターの売上高

約**30%** 増



- 新製品 LEF-300の発売



- リテイル用途での導入拡大



- 欧州以外へのリテイル
ソリューション横展開促進



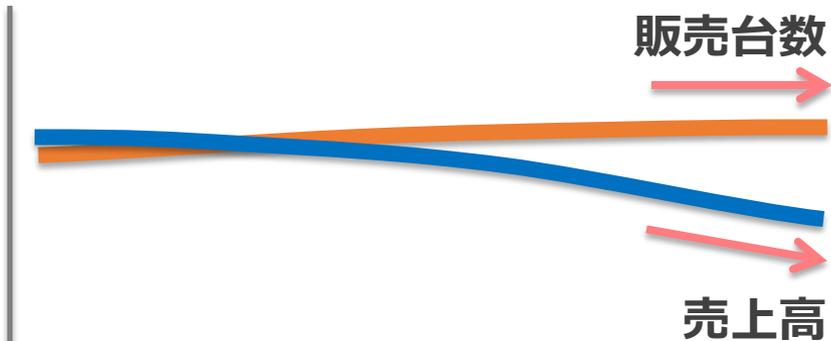
リテール事業の拡大

- デスクトップ製品群やソフトウェアを活かしたソリューション提供
- 顧客層の拡大
(大型スーパー ⇒ 中小スーパー、家電量販店など)



サイン:市場の状況

単価が下落、収益性が低下



※サイン用プリンター売上高と販売台数イメージ

顧客/ブランドの維持

- 新技術・新製品の提供
- サービスを含めた価値提供



サイン:新製品の投入

新ヘッド、新インク搭載 モデルのラインナップ増強

- ・ 鮮やかで高画質なプリントを実現
- ・ スマートフォンやタブレットで各種設定
ができる Roland DG Mobile Panel

TrueVIS

2016年7月発売 **VG-640 / VG-540**
2016年9月発売 **SG-540 / SG-300**

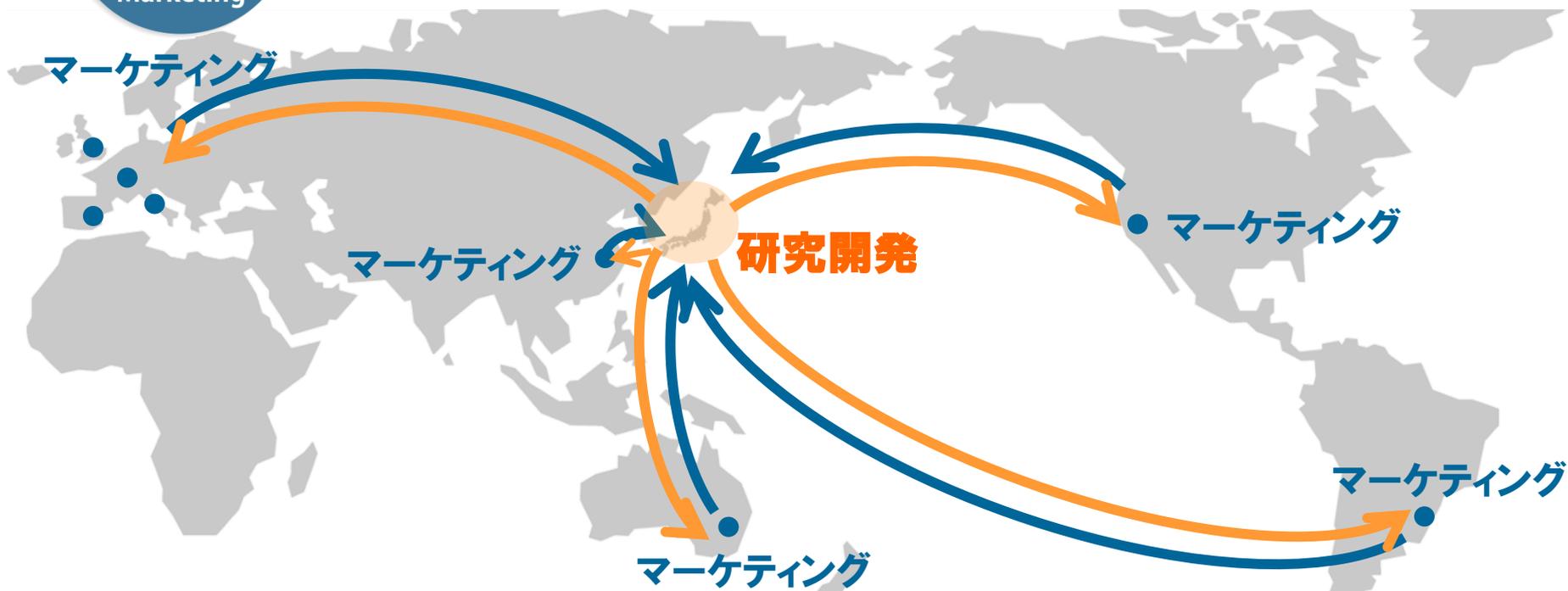


Imagine.  Roland

用途発掘と製品開発



用途の発掘・開拓と市場ニーズの吸い上げ



デジタルプリンティングの新たなビジネスモデル



本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（平成29年3月23日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

ローランドディー・ジー株式会社

